

令和4年5月11日(水)

消化管ステント留置術を受けた患者様へ 【調査研究に関する過去の治療データ使用のお願い】

長野中央病院 消化器内科では「悪性大腸狭窄に対する下部消化管ステント留置術についての後方視的観察研究」という臨床研究を行っております。この研究は、進行大腸癌による大腸狭窄に対して行われる消化管ステント留置術について、適応や有効性、合併症の検討を主な目的としています。そのため、過去に消化管ステント留置術を受けた患者様のカルテおよび治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は長野中央病院倫理委員会で審査され、院長の承認を受けて行われます。

○調査対象期間

2017年1月1日 ~ 2021年12月31日まで

○今回の調査研究の対象はこれまでに消化管ステント留置術を受けた患者さんのカルテ情報、検査結果等です。

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は長野中央病院に帰属し、患者さんには帰属しません。

○この調査研究は、長野中央病院が独自に行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

上記内容について、同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

長野中央病院 消化器内科 桑原 蓮

TEL 026-234-3211